

高浜市委託事業

「こども・若者会議運営」業務委託
実施報告書

高浜市

「こども・若者会議運営」業務委託報告書

実施日：第1回：2024年9月21日（土） 14:00～16:00
第2回：2024年10月12日（土） 14:00～16:00
第3回：2024年11月9日（土） 14:00～16:00
第4回：2024年12月14日（土） 14:00～16:00

対象者：高浜市の取組みに興味・関心のある小（3～6年生）・中・高・大学生

参加人数：第1回：11人 第2回：10人 第3回：8人 第4回：10人 4回合計：39名

実施のねらいとスケジュール

ねらい

こどもや若者に高浜市のおかれている現状や目指そうとしている未来について知ってもらい、自分たちの住むまちのことを自分事として考え、発信する場を設けるための「こども・若者会議」を開催することで、こども・若者の市政への興味・関心を惹起し、こども・若者世代の持続的な市民参加を図ることを目的とする。

実施スケジュール

6月27日	初回打ち合わせ
7月～	児童・生徒募集開始
9月21日	第1回 高浜子ども・若者大家族会議（ガイダンス）
10月12日	第2回 高浜子ども・若者大家族会議（テーマ決め）
11月9日	第3回 高浜子ども・若者大家族会議（中間発表）
12月14日	第4回 高浜子ども・若者大家族会議（報告会）
1月	報告書作成

講座内容

〔第1回高浜子ども・若者大家族会議 ガイダンス〕

【概要】

実施日：2024年9月21日（土）14:00～16:00

参加者：11名

内容：アイスブレイク、事業概要説明、高浜市の紹介

講師：高浜市役所企画部木村部長、NPO 法人アスクネット

第1回の高浜子ども・若者大家族会議では、「高浜市について知る」ことを目的に開催した。会の冒頭、参加者の緊張感をほぐすことや会の後半で実施する「高浜市について知る」講座で参加者同士が話し合える場づくりとして参加者同士の共通点を見つけ合うアイスブレイクを実施した。アイスブレイクの後に、アスクネットより今回の事業は、高浜市で「やりたい！」「やってみたい！」

「住んでみたい！」などについて参加者の立場を生かして考える場であることを説明した。
最後に、高浜市役所企画部木村部長より高浜市についての理解を深めるために、クイズ形式を用いて高浜市の状況についてご紹介をいただいた。



〔第2回高浜子ども・若者大家族会議 テーマ決め〕

【概要】

実施日：2024年10月12日（土）14:00～16:00

参加者：10名

内容：チームビルディング・ブレインストーミング・ディスカッション・発表

講師：NPO 法人アスクネット

第2回の高浜子ども・若者大家族会議では、前回の会議で高浜市の現状について理解したことを踏まえて、参加者自身は高浜市をどんな街にしていきたいかについて考えることを目的として開催した。ディスカッションの進め方として、高浜市×子ども・若者×場所×やりたいこと＝アイデアというルールを設け、「子ども・若者」を参加者が定義付けを行い、高浜市内をフィールドとして、どこでどんなことをやりたいかについての案出しを行った。その後に、場所とやりたいことをくじ引きで決定し、アイデアを出し合い、提案内容をまとめて発表を行った。

＜アイデア例＞

高浜市×子ども・若者×サンヴィレッジ衣浦×ラーメンフェスタ

高浜市×子ども・若者×Tぽーと×サーカス



〔第3回高浜子ども・若者大家族会議 中間発表〕

【概要】

実施日：2024年11月9日（土）14:00～16:00

参加者：8名

内容：ディスカッション・発表

講師：NPO 法人アスクネット

第3回の高浜子ども・若者大家族会議は、第2回でディスカッションの進め方について体験したことを踏まえて、高浜市×子ども・若者×場所×やりたいこと＝アイデアの内容を深めることを目的として開催した。

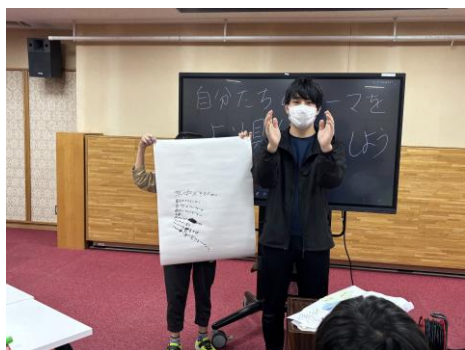
前回は「場所」と「やりたいこと」についてはくじ引きにて決定したが、今回は参加者にて各項目の案出しを行い、その内容にてディスカッションを進め、提案内容の質を深めていった。

参加者自身が「場所」と「やりたいこと」を設定し、前回よりもディスカッションの時間を増やしたことで、内容を深めた発表ができた。

＜アイデア例＞

高浜市×子ども・若者×中学校×肝試し

高浜市×子ども・若者×たかぴあ×スポッチャ



〔第4回高浜子ども・若者大家族会議 最終報告会〕

【概要】

実施日：2024年12月14日（土）14:00～16:00

参加者：10名

内容：ディスカッション・市長へのプレゼン・市長との座談会

講師：吉岡初浩高浜市長、NPO 法人アスクネット

第4回の高浜子ども・若者大家族会議は、吉岡高浜市長をゲストにお迎えし、今までの提案内容の発表と市長との座談会を行った。

前半は今まで通り、高浜市×子ども・若者×場所×やりたいこと＝アイデアのディスカッションを行い、最終報告の提案の準備を進めたのちに、市長へと提案を行った。

発表の後に、参加者10名と市長が座談会を行い、高浜子ども・若者大家族会議に参加した感想や社会人になる為に今何をしておくべきかなどについて話し合った。

<アイデア例>

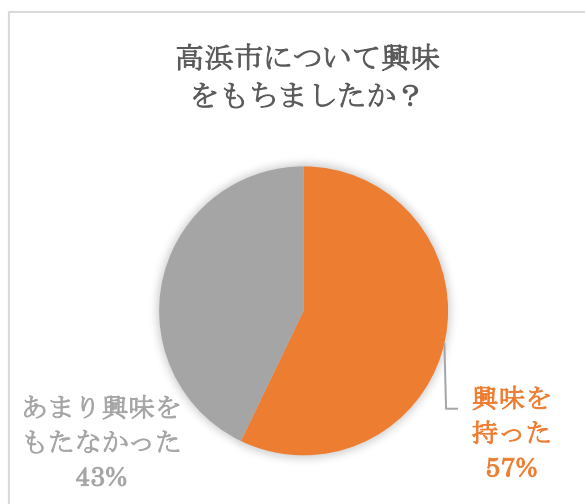
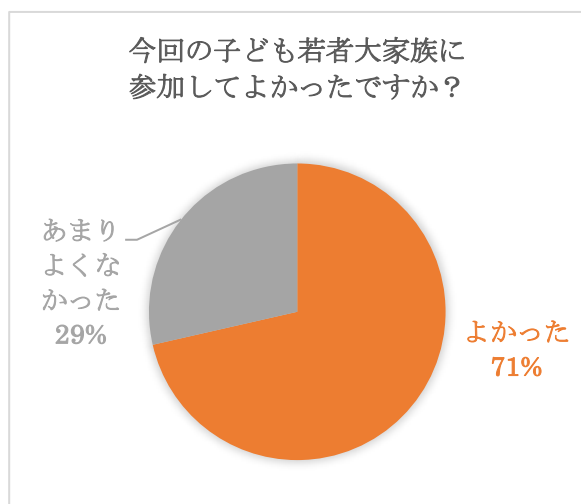
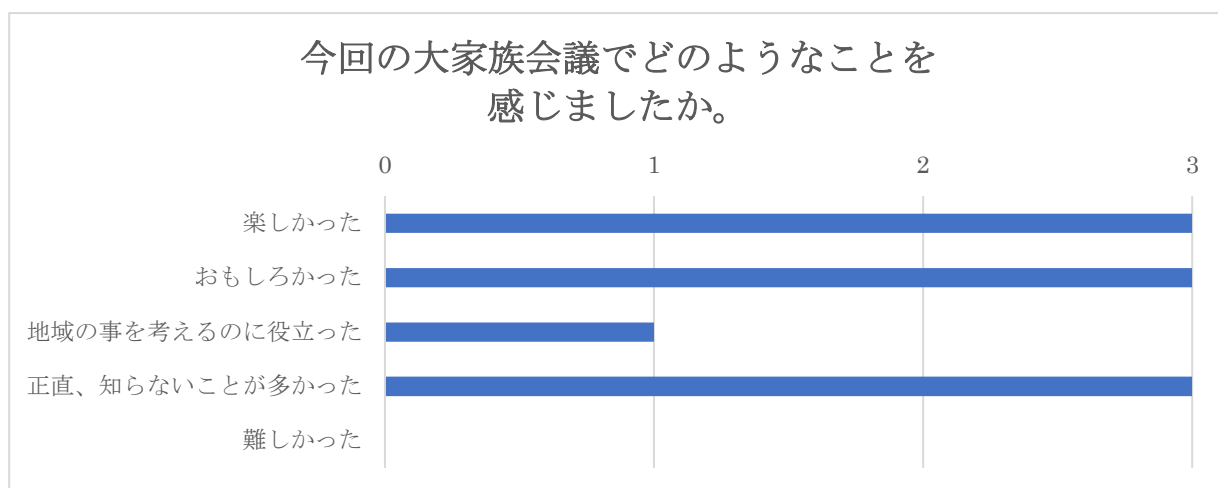
高浜市×子ども・若者×高浜中学校×カジノ

高浜市×子ども・若者×大山緑地×ティラノフェス



アンケート結果

アンケートより (n=7)



【参加生徒の感想】

今回の子ども若者大家族でどんなことが印象に残っていますか？（抜粋）

- ・各々好きなように発言していてとてもやりやすかった
- ・企画を考えること
- ・高浜市に何があるか知ることが出来た
- ・自分の意見を市の人に伝えられること
- ・企画のために積極的に生徒が取り組んでいる姿

今回の子ども若者大家族を受けて、感じたことなど、自由に書いてください。

- ・プレゼンの内容が面白かった
- ・イベントなどを企画・実行するときの参考になった
- ・知らないことが色々わかってよかった
- ・自分たちの意見を自分たち意外の人たちに伝えられるのがいいと思った
- ・できればまたやりたい

アンケート結果からわかること

・生徒事後アンケートから、参加生徒はプログラムを通して高浜子ども・若者大家族会議を「知らないことがわかった」や「面白かった」、「楽しかった」などの回答が多いことから**肯定的**に捉えていることが分かる。

・生徒事後アンケートから、高浜子ども・若者大家族会議に参加して**7割の生徒が参加してよかった**と回答しており、理由としては「イベントなどを企画・実行するときの参考になった」や「自分たちの意見を市役所の人たちに伝えられるのがいいと思った」などの会議の内容によるものであった。一方で、あまり良くなかったと回答した3割の生徒は高浜子ども・若者大家族会議に参加したことは楽しかったが、ディスカッション等が大変だったという理由であった。

・生徒事後アンケートから、高浜子ども・若者大家族会議に参加した**6割弱の子どもたちは高浜市に興味を持つきっかけとなった**と回答しており、その理由としては、「高浜市に何があるか知ることができた」や「知らないことが色々わかってよかった」であった。

担当コーディネーターより

高浜子ども・若者大家族会議を実施し、参加した高浜市内の子どもたちは高浜市の現状を知り、自分事として捉え、自分と高浜市の未来を考えるきっかけとなった。

高浜子ども・若者大家族会議に参加した生徒は、会議で自分たちの地元について考え、チームで意見を交換しながら提案内容をまとめて、自分たちの意見を発信できることを楽しんでいる様子で、本事業の目的である、高浜市の現状や未来について知り、自分たちの住むまちのことを自分事として考え、発信する場となった。

次年度への課題としては、今年度苦戦した「集客」が挙げられる。

今年度は、小学3年生～大学生までを対象とし、市内小中学校へと案内を行ったが、集客へと繋りにくい結果となった。次年度実施の際には、今年度参加者のほとんどが中高生であったことを踏まえて、対象を中高生へと絞り、早い段階で学校へと声掛けを行い、参加を促していくことが必要であ

ると考える。

また、本事業は参加する子どもたちが、地元である高浜市について知り、考え、提案するに留まらず、参加者が実際に提案した内容を具現化して実現することで、より良い事業になっていくと考えられる。

自分たちの提案した内容を地元で実現することは子どもたちにとってのネクストチャレンジの場を設けることに繋がり、そのような場を設けることこそが、自分たちの地元に興味・関心を持って考え、地域と関わっていくきっかけとなり、子どもたちと地域が繋がる場を作り続けていくことで子どもたちは高浜市にとって良い市民となっていくのではないだろうか。